

# 花はな



令和3年度 本田小学校学校だより  
学校評価について 令和4年2月22日  
 TEL 058-326-3417 FAX 326-7752  
 本田小HP <http://edu-mizuho.com/honden>

## 後期学校評価についての報告

向春の候、保護者の皆様には日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。さて、2月に実施しました後期の学校評価については、351名（87.3%）の保護者の皆様方から回答をいただきました。ご多用の中、ありがとうございました。

学校の指導に対して、肯定的なご意見やご指摘等をいただきありがとうございました。また、保護者の皆様の温かいお言葉に、年度末を迎える今、次の学年への進学・進級を見据え、さらに子供たちの成長のために職員一同、子供に寄り添いながら教育活動を進めていこうという思いを強くしました。

以下に、数値結果と、記入していただいたご意見を中心に、現在の学校の取り組みや指導について説明します。この結果を生かし、今後も、保護者や地域の皆様方のご理解とご協力をいただきながら、「みつけ たすけあい やりぬく子」を目指して、全職員で取り組んでまいります。よろしくお願いたします。



### 本校の取組について

上段：9月結果 下段：2月 数値結果（数値は%）

項目	0%	20%	40%	60%	80%	100%
1 学校は、学校の教育目標（みつけ たすけあい やりぬく子）の具現を目指し、職員一丸となって取り組んでいる。	34.7%			61.9%		3.1%
2 お子さんは、進んで挨拶をすることができる。	33.9%			63.0%		2.2%
3 お子さんは、人の話をしっかりと聴くことができる。	28.7%		48.6%		21.3%	
4 お子さんは、自分の考えをもち、話すことができる。	31.3%		46.6%		19.8%	
5 お子さんは、読書に親しみ、読書習慣が身についている。	26.4%		53.7%		18.8%	
6 学校は、どの子にとっても「わかる・できる」授業をしている。	31.7%		51.7%		15.7%	
7 学校は、子供のよいところを認め、励ます指導で、子供のやる気を喚起している。	23.3%		54.8%		20.5%	
8 学校は、不登校やいじめの未然防止や早期発見に取り組み、子供の自己肯定感を高めるよう指導している。	24.7%		51.7%		22.7%	
9 学校は、「すてきみつけ」「ボランティア活動」「道徳の授業」等を通して、心を育てる指導をしている。	32.0%		34.3%		27.2%	
10 学校は、学校便り・ホームページ・家庭への連絡等、開かれた学校を目指して取り組んでいる。	29.7%		34.0%		28.0%	
11 学校は、感染症対策や危機管理等、児童が安全・安心な学校生活ができるよう取り組んでいる。	19.1%		72.7%		6.6%	
12 家庭では、我が子の家庭学習を見届け、子供の自学自習の力が付くように子供に関わっている。	22.9%		67.5%		8.0%	
	33.2%		60.9%		4.1%	
	35.0%		67.2%		3.8%	
	22.4%		69.2%		6.8%	
	29.1%		63.4%		6.1%	
	32.4%		64.2%		3.2%	
	39.4%		57.1%		2.9%	
	28.7%		63.1%		7.7%	
	30.5%		61.7%		7.5%	
	42.0%		53.7%		3.4%	
	41.6%		52.9%		4.9%	
	26.3%		61.9%		11.0%	
	23.5%		60.7%		14.9%	

■ よく当てはまる ■ 当てはまる ■ あまり当てはまらない ■ 全く当てはまらない

今回の学校評価では、「子供が、楽しく毎日学校に行くことができている。」「コロナ禍で、様々な活動を調整しながら進めている。」「感染症の状況や季節などを考えて対策している。」といったうれしいお言葉を多くいただきました。また、数値結果から、「不登校やいじめの未然防止や早期発見に取り組み、子供の自己肯定感を高めるよう指導している。」「すてきみつけ」やボランティア活動を通して心を育てる指導をしている」という項

目では、「よく当てはまる」との回答が、前回より7%前後増えました。これは、心のアンケートをもとに懇談を通して子供の思いに寄り添ったり、子供たちの生活の様子を見守ったりしてきたことや、これまで道徳教育を柱にして、心を育てる学びや「すてきみつけ」の取り組み等を積み重ねてきた結果であるにとらえています。一方、子供が、「読書に親しみ、読書習慣が身につけている」ことは、不十分であると感じているご家庭が、残念ながら多くありました。このことについては今後も、図書館を積極的に活用し読書をする機会を設定する等継続して進めてまいります。ご家庭でも読書の習慣化に向けて声をかけていただけるようお願いいたします。



### 《全体から》

- ・コロナ禍であっても、授業参観が実施でき、学校での子供の様子を見ることができよかったという意見が多くありました。また、宿泊ではなくとも6年生の修学旅行や5年生の宿泊学習、学年によっては近いところへの校外学習やオンラインを用いた見学等、昨年の反省をもとに工夫を加えながら実施できたことが多くありました。来年度もできるだけ子供たちの体験活動や行事を実施できるよう、工夫を加えながら進めてまいります。

### 《学級・学習にかかわって》

- ・「子供が、学校で先生に褒めてもらったことや楽しかったことを家庭で話したり、友達同士でお互いに励まし合ったり、教え合ったりしていることを子供から聞き、よい友達関係が築けていることが見えてくる。本校が行っている『すてきみつけ』等でお互いのよさを見つけ合い、認め合う取り組みのおかげだと思うので、ぜひ継続してほしい。」とのご意見を多くいただきました。本校が大切にしている長年継続してきた取り組みについて、ご理解いただきとてもうれしく思います。
- ・オンライン授業の実施に向けて、環境を整えてほしいとのご意見をいただきました。子供たちにタブレット端末が貸与されてからこれまで、瑞穂市では、子供たちはもちろんのこと教師もタブレット端末をいかに活用して子供たちの学びを効果的に進めていくかということを考え取り組んできています。その結果、日にもよりますが、ほぼ、毎日のように授業の中で活用しています。学校でそれぞれが発表したことを撮り、家庭で見るとはどうかというご意見がありました。今後検討し、取り入れていきます。欠席しているお子さんのオンライン授業についてのお尋ねもありました。現在、学級閉鎖をした学級については、オンラインによる朝の会や帰りの会を実施しています。休みが長期化しているお子さんについては、オンライン授業も取り入れながら、進めていく予定です。しかしながら、休んだすべての日にオンライン授業を実施するという点については、まだ試行段階です。環境を整えることや「自分や人の情報を守る」こと等、子供たちへの情報教育を並行して行いながら進めてまいります。

### 《生活にかかわって》

- ・旗当番に立ったとき、子供たちに「おはよう」「行ってらっしゃい」と声かけをしても返事が返ってこず、残念だったというご指摘をいただきました。アンケート結果からも「進んで挨拶をする」という項目は、わずかながら伸びたものの不十分であると感じているということです。学校の中で、「挨拶する」ことは、ずいぶんできつつあると実感しておりますが、地域や保護者の方への挨拶は、なかなか難しいようです。誰に対しても進んで挨拶ができるようになるために、学校はもちろん指導を継続してまいります。更なる習慣化に向けてご家庭での声かけもご協力をお願いいたします。

今後も、子供たちの安全・安心な学校生活を守っていくために、コロナの感染状況によって対策の方法を判断しながら、より子供たちの学びにつながる活動を工夫してまいります。学校は、今後も保護者や地域の皆様の力をお借りしながら、一緒になって子供たちを支え、力を付けて伸ばすために進めてまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

